

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
1 鉄砲とキリスト教の伝来の	鉄砲とキリスト教の伝来の影響を考えると、戦術の変化が起こったことに気づき、鉱工業や商業の発達、農業生産力の増加など日本がヨーロッパとのつながりによって急速に変化したことがわかる。	<p>1, 今までに学習した世の中を振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地の守護大名が戦国大名として力を付け、世の中は弱肉強食になってきた。この中で織田信長が生き残ってきたのだろう。しかし、そうやって力を強めていったのか。 <p>2, 戦国時代の火縄銃を見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦国大名はほしがるに違いない。いくさに勝てそうだ。 日本中に広がっただろう。 <p>火縄銃の伝来は日本にどのような影響をもたらしたのだろうか。</p> <p>《戦略の変化》</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄砲があれば遠くから攻撃することができ、戦の仕方が変わってきたはずだ。 鉄砲をたくさん持つために、大名達はお金を蓄えたのではないか。 情報が売り買いされたのではないか。 <p>《商業の発達》</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄砲の売り買いによって、室町時代よりさらにお金が動いたのではないか。貿易や商業や市などもぎやかになったに違いない。 <p>《鉱工業の発達》</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄砲を買うのではお金がかかるから、自分の領地で作らせた。そのために鉄や鉛、火薬などのために鉱山の開発が進んだのだろう。 鉄砲だけでなく、刀や貿易の支払いとなる銀のためにも、工業の発達が考えられる。 	<p><エー ></p> <p>鉄砲の伝来の影響について、多面的な認識を持っている。</p>	<p>発言内容</p> <p>今までの学習内容から考えたり、仲間の発言をかかわらせたりし、自分の考えを積極的に発言している。</p> <p>ノートの記述</p> <p>鉱業や商業の発展に鉄砲の伝来が大きな影響を及ぼし、それによって経済力や武力をつけた戦国大名が、生き残っていたという認識をしている。</p>	<p>火縄銃の写真</p> <p>油絵・南蛮屏風</p> <p>鉄砲鍛冶の様子</p> <p>キリシタン大名・フランシスコザビエル</p>
		戦いばかりの時代だと思っていたが、軍事力を高めようとする戦国大名によって、多くの産業が発達したことがわかる。鉄砲から世の中を考えただけでもいろんな変化が起こってきたことがわかる。その中で鉄砲を多く持つ大名や商人が力を持ったのだろう。日本に鉄砲やキリスト教を伝えた国々は、そのころどんな様子だったのか。			
2 ヨーロッパ人の来航の背景	ヨーロッパ人の来航の目的を経済・政治・宗教の3つの側面から考えることを通し、ヨーロッパの国々がアジアを重要な開拓の地と考えていたことがわかる。	<p>1, 前時の感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦いの多い乱れた世の中だが、商業や工業が発達したことがわかった。 ヨーロッパの国々が、海を渡って世界に飛び出している。 ヨーロッパ人は何のために海を渡りはじめたのだろう。 <p>ヨーロッパ人はなぜアジアにやってきたのだろうか。</p> <p>《胡椒を買いにきた》</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ人は、胡椒などにおいを消す香辛料をほしかった 香辛料は高価なため、ヨーロッパで高く売れた。銀と同量で交換した。 <p>《領土を広げるために》</p> <ul style="list-style-type: none"> まだ、発展していないアジアを自分の領土にしようとした。 アメリカ大陸など自分の国を広げようとした。 <p>《宗教を広げるために》</p> <ul style="list-style-type: none"> キリスト教を広めたい。 宗教改革のためにイエズス会はアジアやアメリカに宣教師を送った。 	<p><ア - ></p> <p>ヨーロッパ人の来航の目的を多面的に意欲的に追究しようとしている。</p> <p><エ - ></p> <p>ヨーロッパ人のアジアへの進出についてヨーロッパ諸国の状況を考慮しながら、多角的に考察することができる。</p>	<p>ノートの記述</p> <p>ヨーロッパの植民地支配のおそれや、キリスト教の広がり、工業技術の違いを認識し、領土の拡大、布教のためにアジアを訪れたという認識をしている。</p>	<p>16世紀頃の世界</p> <p>ヨーロッパの海外進出年表</p> <p>大航海時代の様子</p> <p>香辛料</p> <p>免罪符</p> <p>南蛮屏風</p> <p>南蛮時</p>
		ヨーロッパの国々は世界を視野に入れている。アジアの地域へ香辛料を求めてやってきたのだ。しかし、それだけではない。アメリカはその後植民地となった。ヨーロッパの力が世界に広がろうとしている。それにしても戦国大名達はヨーロッパ人から鉄砲を買い入れるなどのために、どのようにして経済的基盤を築いていったのだろう。			
		<p>2, 日本への影響は鉄砲の他にどんなものがあつたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの宗教や文化が日本に入ってきて、たくさんのお金が動いたはずだ。戦国大名達はどのように経済的な基盤を築いたのだろう。 			

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
3	<p>関所や座の廃止によって流通を活性化し、城下町を繁栄させたり、堺の商人達を支配したりすることによって経済を発展させ、織田政権の基盤を安定させ、全国統一への経済的基盤を創り上げていったことがわかる。また、座や仏教勢力など旧勢力を排除することができたことがわかる。</p>	<p>1, 感想を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパから多くの文化や技術が伝わってきた。日本の大名達はそれを利用しながら力を伸ばしていった。しかし、戦が続く中でどうやって資金を作ったのだろう <p>2, 座の仕組みを見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座や市を保護することで大名達は税を取り立てていた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>座から税が入らなくなるのに、どうして楽市楽座を始めたのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・市場での税を免除した。 ・関所の廃止で商人の自由な通行を認め、自由な商工業活動によって、商工業が活発になり、国が栄えることにつながる。 ・鉄砲など様々な物資が手に入りやすくなる。城下町が栄え他国の情報や技術者が集まってくる好循環が生まれる。 ・自由な売買、座商人の特権を排除したことで、今までの古い勢力を排除した。 ・他の地域での借金・借米は返済しなくてもよくなった。 <p>3, 「楽市楽座」を進めながら、鉄座・薪座などの一部の座を保護しているのはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の城下に必要な座だったから。特に鉄座は鉄砲を作らせるために保護した。そのための座からの収入も期待できた。 <p>4, 信長の古い勢力を排除する動きは仏教徒に対してもあったことを示す。</p>	<p><ウー></p> <p>座のしくみや「楽市楽座」の様子を経済的な視点で資料から読み取っている。</p> <p><イー></p> <p>「楽市楽座」の仕組みを理解し、経済的効果について多角的に考察している。また、座の廃止や延暦寺の焼き討ちなどが旧勢力の排除につながっていると考えている。</p>	<p>発表の内容や感想の記述</p> <p>「楽市楽座」により、市場に物・情報・人・技術が集まり、商業が発展し、経済効果が高いという考え方をしている。</p> <p>座の廃止は、旧体制や旧勢力を排除したことになると考えている。</p>	<p>座の仕組み 楽市楽座</p> <p>薪座定書</p> <p>延暦寺焼き打ち</p>
		<p>「楽市楽座」は、信長にとって一見損のようにみえるが、領国の経済を発展させ、城下町を繁栄させようとするねらいがあった。それによって旧勢力の基盤を崩していったのだ。延暦寺を焼き討ちにするなど、人々が信じていた物を壊したのは、それらが、人々の心を利用して勢力を誇っていたからだろう。信長の死後、秀吉はどのように天下統一を進めたのだろう。</p>			
4	<p>秀吉が長期間にわたって徹底的に検地を進めたのは、力の誇示と経済的基盤と兵農分離であることが分かり、検地帳によって全国の農民と農地を直接支配し、大名には知行を宛い支配していたことに気づき、検地は天下統一のための重要な政策だったことがわかる。</p>	<p>1, 秀吉の年表を見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秀吉は、信長が死ぬと1か月後から検地を始めた。どうしてだろう。 <p>2, 秀吉が検地を命じた浅野長政への書状を見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山の奥まで…」と徹底的に検地をするように命令している。村を滅ぼしてしまったら年貢が穫れなくなるのに、そうまでしても検地をするように命じているのは、よほど秀吉に重要だったのだろうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>秀吉はなぜ厳しく検地をするのだろうか。</p> </div> <p><土地の支配のため></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の土地という実感 ・土地の広さを知る。天下統一のためには秀吉は把握する必要がある。 <p><年貢を確保する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農民を検地帳に記帳することで、年貢を義務づける。 ・軍備を整えるために予算を立てる必要がある。 ・家来の俸禄の予算・公共事業の予算 <p><農民支配></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田の耕作権は戸籍のような役割もする。 ・武士と農民、兵農分離を明確にしたい。 <p>3, 秀吉のものになるわけではない。どのようにつかわれるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秀吉の年貢がすべて届くわけではなく、秀吉は年貢の使い道をも大名に指示をしている。 ・年貢は秀吉から与えられる軍役にあてられるなどしている。 	<p><イー></p> <p>太閤検地によって農地と農民を直接支配することを全国統一とかかわらせて考えている。</p>	<p>発表や感想の内容</p> <p>秀吉の検地は、かつて、二重支配にあった農地と農民を、秀吉自身が把握し、直接支配するためであるという考え方をしている。</p>	<p>秀吉年表</p> <p>秀吉が浅野長政に宛てた書状</p> <p>知行宛行上</p>
		<p>秀吉は、検地によって農民と農地の支配を確実に行うと同時に、農民を治める大名の支配も可能にした。検地は天下統一のための証であった。</p>			

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
5 地 侍 中 島 氏	太閤検地が実施され兵農分離が進む中、長良の地侍中島氏が侍の地位を捨て一族の活路を百姓としての身分に求めたことから、下剋上の戦国時代が終焉を迎えていることに気づき、世の中は農業や商業によって安定した生活を築くことができる時代にうつりつつあることがわかる。	<p>1, 検地の感想を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 太閤検地は年貢の量が決められ、秀吉の支配が隅々まで行き届くことを意味している。検地をしてもすべてが大名の自由になるわけではなく、秀吉の指示によって使い道が決まる。秀吉は大名をも支配しているのだ。自分の領地といっても転勤があるのだ <p>2, 良の地侍はどうだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 秀吉の家来になるか、農民になるか兵農分離が進んだことがわかる。中島家は百姓の身分になったのだ。どうして百姓になったのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>長良の地侍中島家は、先祖から武士だったのに、中島両以はなぜ百姓になったのだろう。</p> </div> <p>《わからない》</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦いを繰り返しながら出世していくのに夢が無くなったのだろうか。秀吉だって、百姓から武士になったのだから憧れがあるはずだ。 武士の意地があるはずなのに命が大切なのか。刀狩りで刀を取られるのも屈辱的だと思う。 <p>《わかる》</p> <ul style="list-style-type: none"> 侍の時は、隣国から侵入されたり奪い合ったりして気を抜けなかったが、今度は秀吉が守ってくれるので、そういうことはない。 秀吉の全国統一が進んでいるから、戦もなく出世も限られてくる。 百姓は自分の土地が証明されるが、武士は転勤もあり、自分の物にはならない。世の中は平和になっていくのだ。そこでできることがあるはず。 <p>3, 中島両以の屋敷跡をみてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 長良に大きな屋敷があり、今でも墓が残っているなんてやはり、大きな成功を収めたのだ。両以の選択は間違っていないかったのだ。 	<p><ア- > 身近な地域の歴史に関心をもち、通史との関わりを見いだそうとしている。</p> <p><イ- > 全国が統一されようとしている時代の流れから、地侍をとらえようとしている。</p> <p><ウ- > 武士の生活の様子や世の中の変化を年表や資料から読みとっている。</p>	<p>発表から長良の地侍であった中島氏に興味を持って、通史や今までの学習を活用して考えようとしている。</p> <p>発表と授業後の感想 兵農分離が進む時代の移り変わりを読みとり、武士以外の道で豊かさを築くことができるという考え方をしている。</p>	<p>中島家年表</p> <p>両以記文</p> <p>「中島両以記文」軍役の計...」 「中島両以記文」昔は折々他国より...」 「秀吉年表」 長良北町地図 両以屋敷跡 中島家墓所</p>
<p>人々は戦はもう嫌だと思っていた。中島家のように時代が安定していることを見抜き、武士ではなくても豊かな生活ができる予感があったのだろう。下剋上はもうない。平和な世の中がやってきたら、武士道だけが生きる道ではないと考えたのだ。秀吉から江戸時代になり、全国の侍や農民の生活はどうなっていくのだろう。</p>					
6 桃 山 文 化	城の建築やふすま絵に代表される豪華な桃山文化は、宣教師によってもたらされたヨーロッパの新しい学問や技術の影響を受け、貿易や商業が盛んになる中で、富や権力を持つ大名や大商人によって、発達したことがわかる。	<p>1, 秀吉は全国統一し、強い軍事力や財政を何に使ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝鮮に出兵した。挑戦の人々が多く犠牲になり、耳塚は朝鮮に侵略した証拠となった。同時に朝鮮の文化も取り入れた。 秀吉は検地や刀狩りをして全国統一をした。世の中は戦のない安定した平和な時代に入ろうとしている。 <p>2, 信長や秀吉が経済的基盤を創り上げながら全国統一したこの時代に生まれた文化を見てみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>安土桃山文化にはどのような特色があるのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 力強さと豪華さを感じる。 壮大さ、華やかさを感じる。 支配者や大商人に権力や財力が集中したからこそもてる文化だ。検地によって経済的基盤ができた。 <p>3, こうして豪華で壮大な文化が生まれ出された要因は何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパとのつながりができ、貿易などが盛んになり商業が発達した。 ヨーロッパから、いろんな技術が日本に取り入れられた。 	<p><ウ- > 安土・桃山時代の文化の特色を、文化財等の資料から考えることができる。</p>	<p>発表・感想の記述 多くの文化財の鑑賞から、安土・桃山時代は天下が統一され、富や権力を持つ大名や豪商によって、豪華な文化が築かれたことを資料を用いて説明している。</p>	<p>耳塚</p> <p>有田焼の壺</p> <p>姫路城・大阪城・安土城・天守閣 茶の湯...千利休 二条城大広間のふすま絵</p>
<p>桃山文化は、今までの文化にはない力強さ、豪華さ華やかさがある。やはり、乱れた世の中が一人の天下人に統一されて、新しい社会が形成される時代を反映しているのだろう。大名や豪商など支配者に富が集中していったのだ。</p>					

